

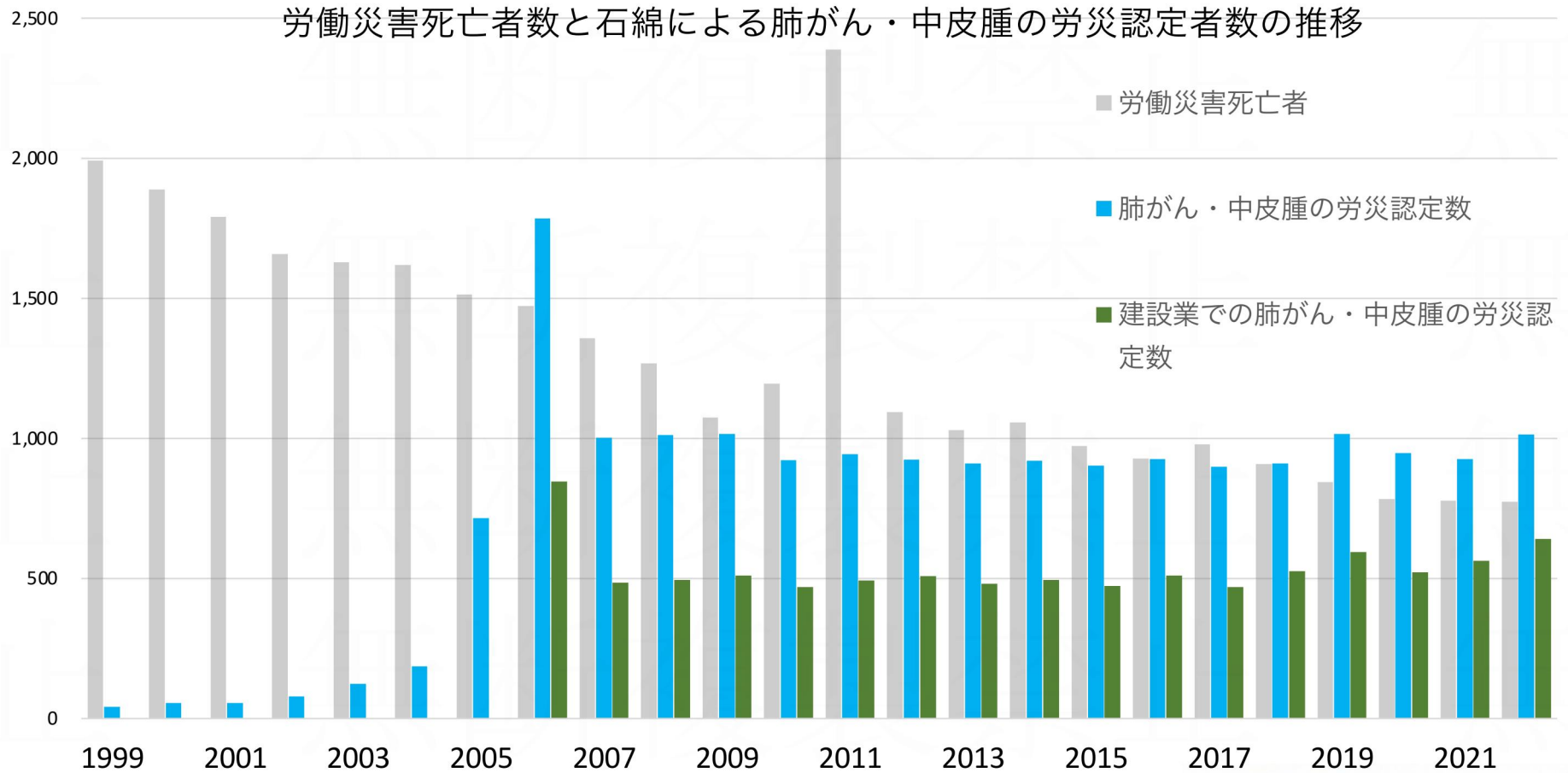
## 4 石綿作業 実務上のポイント

## 石綿作業 実務上のポイント

1. 作業者の自覚が第一
2. 事前調査は、だれが、いつ行うのか？
3. 「みなし」を活用する
4. 分析数を最小にする
5. 記録を残す

# 石綿作業 実務上のポイント

## 1. 作業者の自覚が第一



## 石綿作業 実務上のポイント

### 2.事前調査は、だれが、いつ行うのか？

石綿障害予防規則 第3条第3項

【略】 事前調査は、それぞれ当該各号に定める方法によることができる。

1 既に前項各号に掲げる方法による調査に相当する調査が行われている解体等対象建築物等

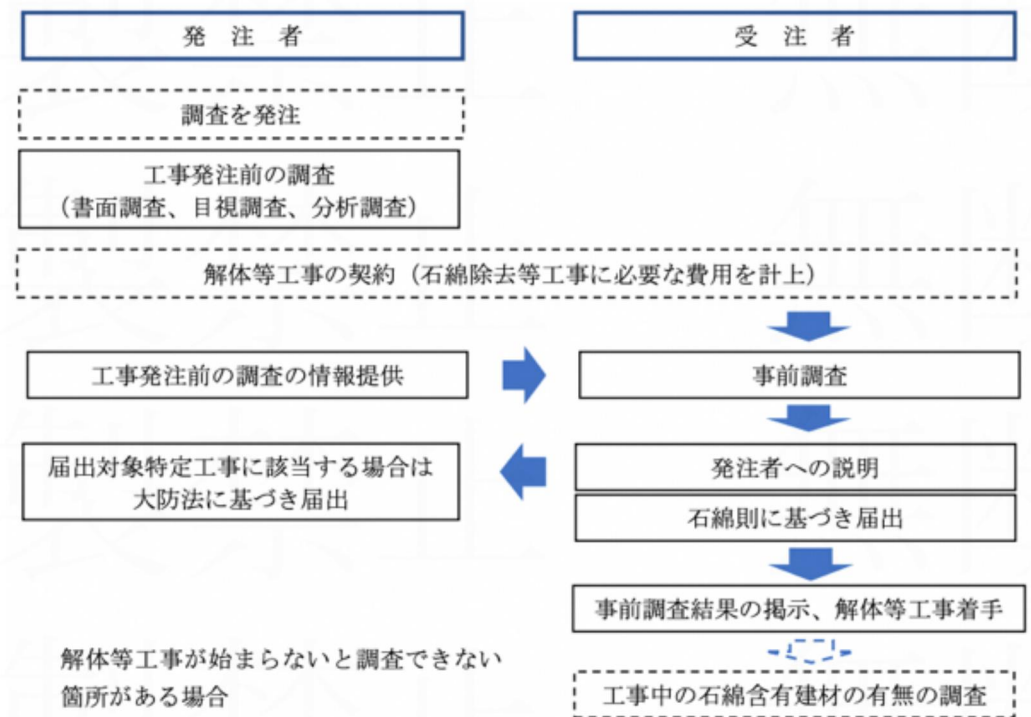
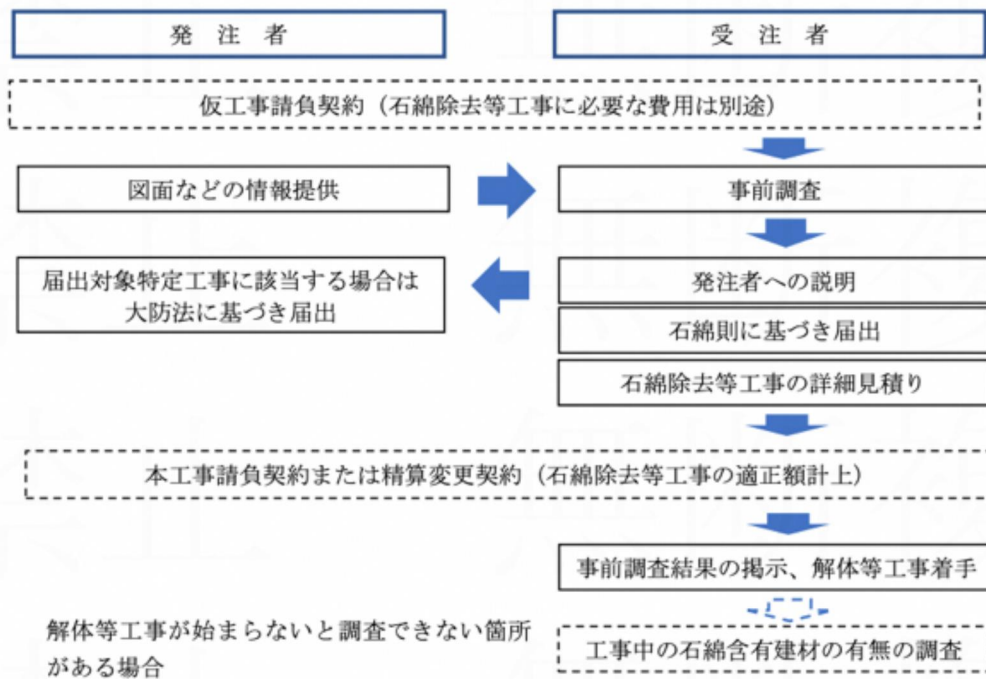
⇒当該解体等対象建築物等に係る当該相当する調査の結果の記録を確認する方法

**発注者が調査者による調査を実施**

**⇒元請会社は調査結果を確認する（調査者でなくても可）**

# 石綿作業 実務上のポイント

## 2.事前調査は、だれが、いつ行うのか？



建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル P.100

## 石綿作業 実務上のポイント

### 2. 「みなし」を活用する。

分析を行わずに石綿含有みなしとすることができる。

- ・ 石綿の含有の可能性
- ・ 石綿ばく露・飛散防止対策や廃棄物処理に要する費用
- ・ 全面的な除去を行わない作業

## 石綿作業 実務上のポイント

### 3.分析数を最小にする。

①同一建材の範囲を工夫する。

②複数層の試料を1試料で分析依頼

例：ビニル床タイル、仕上塗材、石膏ボード+クロス

③分析者に相談する。



### 4.記録を残す。

#### 主な記録事項

- ①事前調査結果（分析結果、資格書類等を含む）
- ②事前調査結果の発注者への説明書面
- ③電子申請
- ④作業記録（写真等を含む）
- ⑤終了確認（写真等を含む）
- ⑥作業結果の発注者への説明書面